

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 6 年 1 月 10 日

協議会名: 登別市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
登別国際観光コンベンション協会	運行系統名:オニスロ(平日) 運行区間:道南バス登別温泉 ターミナル～はなや～泉源公 園～地獄谷～天然足湯～道南 バス登別温泉ターミナル 運行回数:9回 運賃:1回200円、1日500円	初回の事業評価であるが、既 存路線等の連携を意識	A	計画通り事業は適切に実施 された。	C 周知活動の出遅れ等により 1便当たり4.2人の目標に対 して2.0人となった。 安全管理の徹底によする 設備体制の充実、利用者数 の伸び悩みにより収支率 60%の目標に対して20.7% となった。 上記理由により(一社)登別 国際観光コンベンション協 会の支出額135万円の目標 に対して254万円となった。	利用しやすいダイヤへの改正、 分かりやすい運行形態への見 直し、ニーズに応じた乗降箇所 の改善、地元商店街等の連携 による利用促進により、全体の 見直しを行う。
登別国際観光コンベンション協会	運行系統名:オニスロ(休日) 運行区間:道南バス登別温泉 ターミナル～はなや～泉源公 園～地獄谷～天然足湯～道南 バス登別温泉ターミナル 運行回数:28回 運賃:1回200円、1日500円	初回の事業評価であるが、既 存路線等の連携を意識	A	計画通り事業は適切に実施 された。	C 周知活動の出遅れ等により 1便当たり7.4人の目標に対 して2.2人となった 安全管理の徹底によする 設備体制の充実、利用者数 の伸び悩みにより収支率 60%の目標に対して20.7% となった。 上記理由により(一社)登別 国際観光コンベンション協 会の支出額135万円の目標 に対して254万円となった。	利用しやすいダイヤへの改正、 分かりやすい運行形態への見 直し、ニーズに応じた乗降箇所 の改善、地元商店街等の連携 による利用促進により、全体の 見直しを行う。